

3Dものづくり特別分科会の設置 公設試との連携推進のための産総研事業

産業技術総合研究所

ナノテクノロジー・材料・製造分野研究企画室 連携主幹

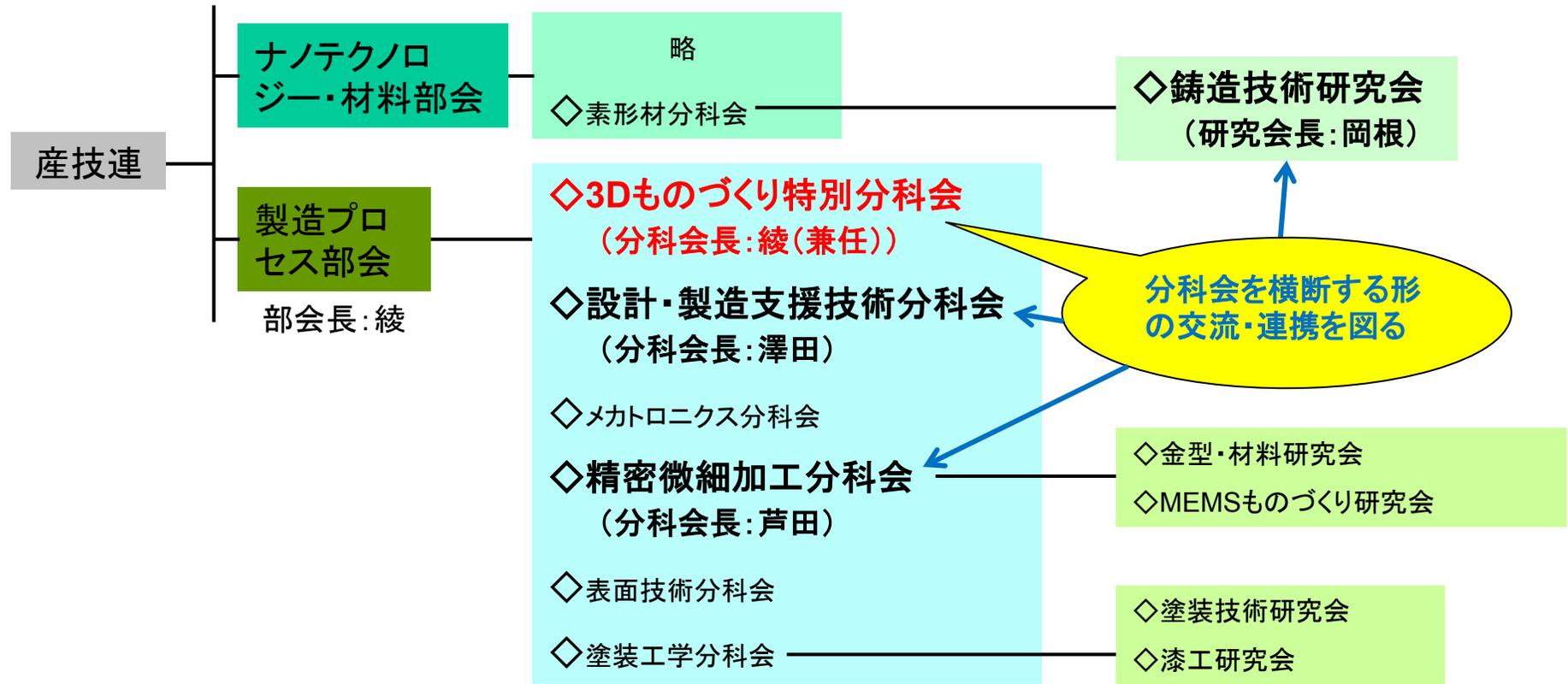
産業技術連携推進会議

製造プロセス部会 副部会長

山内 真

3Dものづくり特別分科会の設置

樹脂等3Dプリンターの目覚ましい発展や、金属、セラミックスの3D積層造形装置開発プロジェクトに対応した公設試との連携を強化するため、産技連製造プロセス部会に時限的な「3Dものづくり特別分科会」を設置し、設計を含む3Dものづくりの複合的ネットワーク形成、積層造形装置に対する地域産業ニーズの取り込み、プロジェクト成果の普及、3Dものづくりに関する人材交流等を行う。



公設試との連携推進のための産総研事業

(1) 産技連 研究連携支援事業(平成22年度～)

公的資金及び民間資金による研究開発プロジェクト及び実証事業への提案をめざす。

(2) 産技連 技術向上支援事業(平成22年度～)

公設試の職員等に対し、新しい技術の習得を目指すための活動を支援する。

(3) 地域産業活性化支援事業(平成18年度～)

公設試の研究者を招へいし、連携して研究開発を実施する。

(4) 新技術活用促進事業(平成26年度～) **新規**

①プロジェクト支援型

国プロ等の研究内容を企業ニーズに合致させるとともに、開発成果の迅速な普及をめざす。

②トライアル支援型

産総研が開発した新技術を地域の企業に普及する。

③活用サポート育成型

産総研が開発した新技術の、地域企業による活用をサポートする公設試人材を育成する。

地域企業から求められる高度で新しい技術について、公設試が地域企業に速やかに普及することを支援する。(平成26年度～)

①プロジェクト支援型

- 産総研等が国プロ等で新技術開発を実施する際に、研究成果のユーザーと想定される企業ニーズを調査し、研究計画に反映させる。
- 研究成果の地域企業への普及に貢献する。
- これにより、国プロ等の研究内容を企業ニーズに合致させるとともに、開発成果の迅速な普及をめざす。

H26は3Dものづくりのテーマで行う予定

